

個人質問

こうめいとうぎいんだん  
公明党議員団

こじま はるみ  
小島 晴美

録画映像



問 乳幼児へのブックスタート事業について問う

ブックスタート事業とは、ゼロ歳児健診の際に赤ちゃんと保護者が心触れ合うひとときを持つきっかけとして絵本を贈る事業のことで、その目的は、本を、読む「リードブックス」ではなく読み手とともに楽しむ「シェアブックス」と捉え、親子の絆を深めることである。全国的にも多くの自治体で実施しており、津市においても導入すべきと考えるがどうか。

答 保護者が選んだ絵本を購入できるような支援を行っている

現在、津市では出産・子育て応援事業により伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行っており、これらの支援により、ブックスタートの役割である支援者と子育て世帯をつなぐ子育て支援と、保護者が自分で読み聞かせたい絵本を購入できる経済的支援を実施している。

乳幼児期における身近な人による絵本の読み聞かせは、子どもの豊かな心を育てることができ、良好な親子関係を築くことは、子育て世帯に対する養育支援の観点からも重要な取り組みであることから、乳幼児に対する読み聞かせ事業の充実を図りながら、読書の大切さを保護者に伝えていく。

その他の質疑・質問

- 防災・減災対策について
- 災害時受援計画について
- 災害関連死の課題について
- 個別避難計画の進捗状況について
- 認知症高齢者の支援について
- 身元確認QRコードシールについて
- 希望をかなえるヘルプカードについて など

▶  
徘徊が心配される認知症高齢者等に身元確認QRコードシールが令和6年4月から導入される



個人質問

つ 津 み ら い

いしかわ よしのり  
石川 禎紀

録画映像



問 津市地域公共交通計画について問う

鉄道路線やバス路線、タクシーなどの民間の公共交通に加え、津市コミュニティバスの再編、デマンドバスの導入など、津市全体の公共交通の在り方の基本となる津市地域公共交通計画の趣旨や内容、定めていく事項は。また、今後、津市のコミュニティ交通の一助となる可能性があるライドシェアや自家用有償旅客運送について、どのような議論がなされているのか。

答 地域公共交通のマスタープランとしての役割を果たすもの

地域公共交通計画は、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たすもので、地域が目指すべき将来像や公共交通が果たすべき役割を明確化し、公共交通の活性化および再生に向けた取り組みの方向性を定めた基本的な方針などを定める。

また、国では、自家用有償旅客運送制度の改善や一定の条件下で一般ドライバーが自家用車で客を運ぶライドシェアの開始などが予定されているが、新たな公共交通の一助として有効な役割を果たすかは現段階では不透明な状況であり、今後も国の動向を注視しながら調査・研究していく。

その他の質疑・質問

- 津市矢頭中宮キャンプ場の廃止について
- 津市榊原温泉湯の瀬の滞在施設の利用について
- 学校施設改修特別推進事業について
- 教育方針について
- 0歳から18歳の学びの連続性・一貫性を見通した取り組みについて
- 教職員の働き方改革について など

▶  
4月から福祉利用者以外の方だけでも利用可能になる津市榊原温泉湯の瀬の福祉型滞在施設

